

★ 電気電子、電池、塗料、インキ、接着剤、繊維複合材料、医薬品、食品、化粧品、建材など幅広い分野に共通する知識
 ★ 分散を阻害する因子、分散剤の使用や表面処理による分散性向上や粘度コントロールのポイント
 ★ 分散ムラによる物性の偏り、乾燥ムラによる塗膜のムラ...その対処ノウハウを学ぶ

●日 時:平成29年8月24日(木)
 10:30~16:45
 ●会 場:[東京・五反田] 日幸五反田ビル8F
 技術情報協会セミナールーム
 ●聴講料:1名につき 55,000円
 (消費税抜、昼食・資料付)
 [1社2名以上同時申込の場合のみ
 1名につき50,000円(税抜)]

[大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。詳細はお問合せ下さい]

スラリー・ペーストの

分散安定化, 塗工乾燥, その評価

第1部 スラリー・ペーストの調製・分散と安定化

[10:30~12:15]

●講師 山形大学 学術研究院 システム創成工学分野
 教授 博士(工学) 木俣 光正 氏

【講座の趣旨】

粉体分散系のスラリー・ペースト中に含まれる粉体間の付着力、粉体-液体間の親和性やDLVO理論を知ることにより、分散、凝集のメカニズムについて理解を深め、スラリー・ペーストの分散性に関するトラブルに対処できるように、積極的な分散安定化手法について概説します。

1. はじめに(不思議な粉)
2. 粉体, スラリー・ペーストの分散・凝集メカニズム
 - 2.1 スラリー・ペーストの調製
 - 2.2 粉体間にはたらく付着力
 - 2.3 粉体の力学的特性(粉体の流動性)
 - 2.4 粉体と溶媒との親和性(濡れ, SP値)
 - 2.5 スラリー・ペースト中の粉体の表面電位
 - 2.6 液相における粉体の分散と凝集 (DLVO理論)
3. 粉体の表面改質・スラリー・ペーストの分散安定化法
 - 3.1 吸着の原理
 - 3.2 界面活性剤の吸着による表面改質
 - 3.3 水溶性高分子の吸着による表面改質
 - 3.4 カップリング剤処理による表面改質
 - 3.5 粉砕法(メカノケミカル法)による表面改質
 - 3.6 粉砕機を用いたスラリー・ペーストの調製
4. おわりに(まとめ)

【質疑応答】

第2部 スラリーの塗布・乾燥の原理とトラブル対策

[13:00~14:45]

●講師 旭化成(株) 生産技術本部
 生産技術センター 加工技術部 主席技師
 技術士(機械部門, 総合技術監理部門) 綾部 守久 氏

【講座の趣旨】

電気電子、電池、コーティングや各種機能性製品に対してスラリー・ペースト原料の塗布および乾燥プロセスが多く用いられている。本講座では各種コーティングプロセスからスラリー・ペースト系原料に適した塗布方式と乾燥方式と原理について簡単に解説し、一般的に生じる欠陥とその対策方法について紹介する。

1. 塗布の基礎とプロセス選定
 - ・さまざまな塗布方式の特徴と分類
 - ・どうやって塗布方式を選ぶのか?
2. 乾燥の基礎とシミュレーション
 - ・さまざまな乾燥プロセス
 - ・乾燥を理解するための基礎知識
 - ・乾燥の基礎実験
3. 塗布・乾燥で発生する欠陥とその対策
 - ・欠陥対策へのアプローチ論
 - ・さまざまな欠陥の種類と分類

【質疑応答】

第3部 スラリー・ペーストの分散度, 塗膜状態の評価

[15:00~16:45]

●講師 JHGS(株) こな椿ラボ 主宰
 工学博士 椿 淳一郎 氏
 (名古屋大学 名誉教授, (公財)名古屋産業科学研究所 上席研究員)

1. スラリー・ペーストの流動性評価
 - 1-1.流動挙動の種類
 - 1-2.流動性評価法
 - 1-3.流動性評価の実例
2. スラリー・ペースト中の粒子集合状態評価技術
 - 2-1.重力沈降, 遠心沈降試験
 - 2-1-1.測定原理及び実験方法
 - 2-1-2.測定結果の実例
 - 2-2.沈降静水圧測定法
 - 2-2-1.測定原理及び実験方法
 - 2-2-2.測定結果の実例
 - 2-3.ナノ粒子の分散・凝集状態評価(浸透圧測定法)
 - 2-3-1.測定原理及び実験方法
 - 2-3-2.測定結果の実例
 - 2-4.希薄系での粒子分散・凝集直接観察

【質疑応答】

「スラリー・ペースト」セミナー申込書

No.708203

8/24

【講師紹介割引申込 上記聴講料より2割引】

会社名	事業所・事業部		講師からの紹介として、聴講料を2割引させていただきます。 2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。 申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。 お申し込み後はキャンセルできませんのでご注意ください。 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りします。
住所	〒		
TEL	FAX		
所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail	
受講者1			
受講者2			

今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください)

[郵送(宅配便)・FAX・e-mail]



技術情報協会

TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080